

公表

児童デイサービス笑る（ニコル）事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	児童デイサービス笑る（ニコル）		
○保護者評価実施期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の個性（ストレングス）を尊重し、更に伸ばすための支援方法を日々の活動（言動）等から読み解き、支援に反映させる取り組み。また、活動内容やテーマ・目的などを、児童達と話し合い明確化させ、自主的に目標設定が図れるよう図っている	保護者の意見（意向）だけに捕らわれず、児童の主訴をくみ取り、保護者への理解と協力を得て、支援へ反映させる取り組みを行っている。また、職員はある程度の選択肢を用意し、最終的には各児童（個人）及び、児童間（集団）での話し合いを行い、活動を進める	児童が輝ける場所（機会）を更に広め（増やし）、成功体験の積み重ね並びに自己肯定感を高める事により、自信やチャレンジ精神の向上に務める
2	言葉での指示や、一方的な行動要求だけではなく、実際に体験（経験）する事で、更なる理解や自立心へ繋げる	各活動において体験型（外食体験・路線バス乗車体験・買い物体験・販売会・琉舞発表会・イベント参加 等）の活動を取り入れ、言葉や視覚からの情報にとどまらず、実際に考え、行動し、感覚が得る刺激により、理解の促進を図る	地域や、関係団体との連携を更に深め、合同での活動イベント等を図る事により、児童間の交流はもとより、職員間の情報交換の場を作る

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士といった、専門性の高い支援が困難である	専門知識を求める保護者への対応が困難である	人材確保及び、職員への資格取得へのサポート